

今、ミツバチがあぶない!!

地球危機!! ミツバチ救出新聞

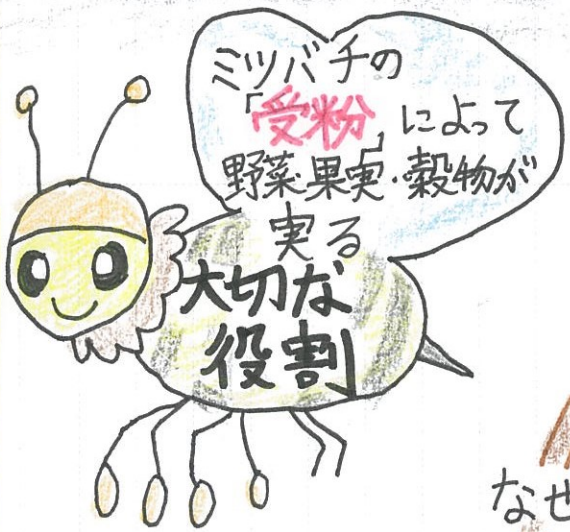
発行日
平成30年1月10日
発行者
愛知教育大学
附属名古屋小5年
鈴木悠朝

人間も絶滅危機!?

人間の食料の約70%は、ミツバチの受粉によって支えられている、ということを知っていますか?
そのミツバチが、今、絶滅の危機にあり、人間の生命もおびやかされています。そんなミツバチを守る活動をのぞいてみました。

アインシュタインも...

ミツバチがいなくなると、4年以内に人類は滅亡すると、提言!!



なぜ?

ミツバチは環境指標生物
ミツバチが生きられる環境
人間が安心して生活できる環境

ミツバチがいなくなると

多くの野菜や果実が育たなくなる
乳牛のエサがなくなり乳製品がなくなる
綿花が育たなくなり衣服がなくなる
食べ物等の値段が上がる
人間の栄養不足
世界中でいきいき起こる

ミツバチと共存できる街づくりを

2017年12月2日(土)で6回目をむかえた「ハーゲンダラム」音源やトークで環境や生き方を考え行動につなげる活動をしています。



歌で環境保護活動をするAsumiさん(左)と島崎敦史さん(右)



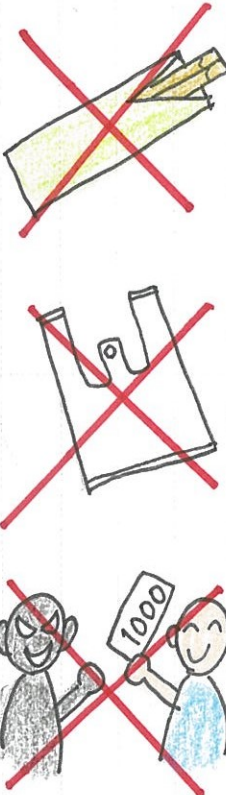
一般社団法人「ファーム船橋 康貴さん(上)に聞いてみました。

ミツバチに良い(僕たちが)環境にするためには...

- ・農薬を使わない。
- ・木林林ばっさいにつながらることをしない。
- ・電磁波や排気ガスを環境に悪いものは減らす。

僕たちには、何が出来るだろうか?

- ・コンビニなどでもらうお箸を断る。
- ・レジ袋を断り、マイバックを利用する。
- ・何をしているか分からない会社に金を使わない



植物いばいのステージで自然をテーマにした歌は、心に響きました。
いなくなつてからでは遅い!!
もっとなんか知ってほしい!!
イベントを体験し、船橋さんのお話を聞いて強く思いました。

編集後記

僕の将来の夢は、海洋生物学者です。海の生物も絶滅の危機にさらされています。ミツバチをふくめ、このような生物たちがいなくなってしまうまえに僕たちができることを少しずつでもしていきたいと思います。日本だけでなく世界中の人々がこの状況を知り、行動しなければなりません。どうか、この地球がずっとずっと未来まで守られますように...